

# 上田市公文書館だより / 第13号

## ■公文書館から

### 防災の日になんだ旧役場文書から



●9月1日は「防災の日」。98年前の大正12年（1923年）9月1日に関東大震災が発生したことや、この日が暦の上で二百十日に当たり、台風シーズンの到来ということで国は「防災の日」に定めたとのこと。●当館所蔵の「大正12年中塩田村役場日誌」に、9月1日のこの大地震について、当時の役場書記がリアルに記しています。次に原文のまま引用します。

『9月1日土曜 天気曇り 寒暖88度 午後0時15分俄然地震襲来ノ為メ屋外ニ避難セリ。震動数回ニ渡リタルモ場内殆ド被害ナシ、保野、五加、下本郷、小島等各部落ニハ家屋ガ倒壊セルモノ、破損セルモノ等非常ニ多ク、近年稀有ノ強震ナリキ…（中略）…全村各戸ハ殆ド露營的ニ屋外ニ非難シー夜ヲ明カス』

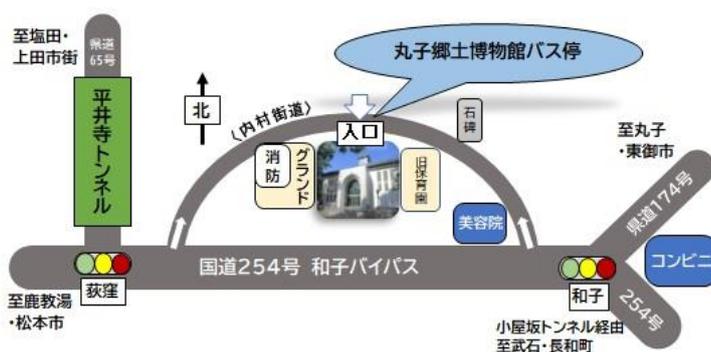
●関東大震災の本震は午前11時58分に発生し、その後2度の大きな余震が続きました。記述には時間的なずれがありますが、東京を壊滅させた大地震は当地にも被害をもたらし、住民は屋外で不安な一夜を過ごしたようです。現代と違い情報伝達手段が貧弱であった当時、住民は一体何事が起きているのか心配したことでしょう。●同時期の他市町村の文書にも、東京方面から続々と入る被害状況や義捐金募集などの通知等が綴られています。（土屋） ※寒暖88度は華氏表記（88°F）、摂氏だと約31度（31°C）

## ■公文書館の催し

### 第7回上田市公文書館所蔵品展「明治維新から1964東京オリンピックへ」

- ◎「戊辰戦争時の高札の記録」荻窪村中村家文書（慶応4年）、「東京オリンピック聖火上田市役所聖火台へ点火」広報うえだ（昭和39年）など資料9点、写真9点、計18点
- ◎期間&時間 令和3年10月17日（日）まで・9時～17時（最終入館時刻は16時30分）
- ◎観覧無料（丸子郷土博物館展示も観覧の場合は有料 中学生超100円）
- ◎説明会 公文書館ホームページをご覧ください。

## ■公文書館のご案内



### ■ 住所・電話

〒386-0413 長野県上田市東内 2564-1  
Tel.0268(75)6682 Fax0268(75)6683

### ■ メール

kobunshokan@city.ueda.nagano.jp

### ■ ホームページ

上田市ホームページ内を公文書館で検索

## 西塩田村の「中禅寺古寺取調書」(明治28年)

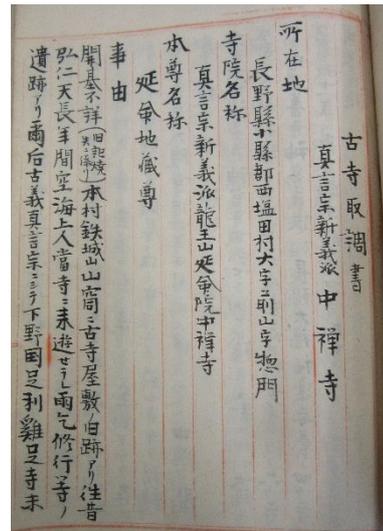
●明治26年(1893年)から作成された『社寺書類 西塩田村役場』には、明治28年5月20日付で、長野県知事宛に提出された『中禅寺古寺取調書』が保存されていました。この『社寺書類』の簿冊には、前山寺・龍光院・塩野神社・手塚八幡社などの歴史のある寺社の取調書も保存されており、いずれの文書にも彩色された境内絵図や建物図面が添付されていました。

●この文書によると中禅寺の事由として「開基は旧記焼失に係り不詳。本村鉄城山に古寺屋敷の旧跡あり。弘仁・天長年間(平安時代初期)に空海上人が当寺に來遊し、雨乞い修業した遺跡あり。それ以来古義真言宗にして下野国足利の鶏足寺(けいそくじ)の末寺に属す」旨、記述されています。●



中禅寺薬師堂古写真

また添付された薬師堂の古写真や仁王門・本堂・庫裡(くり)の図面、彩色された境内図では、薬師堂は方三間の阿弥陀堂建築で、その建築様式より平安時代末期から鎌倉時代初期の建物と推定され、長野県で最古の木造建築とされています。昭和11年には、国の重要文化財に指定されました。●この薬師堂には、同じく国の重要文化財に指定された鎌倉時代初期の薬師如来坐像も安置されています。また仁王門には県宝の金剛力士像があり、平安時代末期とされています。(倉澤)



中禅寺の「古寺取調書」

## 公文書館の利用

※公文書館は入場無料、郷土博物館展示室は有料(大人100円)

- ◆資料検索→目録検索システムをご利用ください。
- ◆閲覧申込→所定用紙でお申込みください。メール、ファックスでも可能です。ただし、一度に閲覧できるのは5点までです。
- ◆資料閲覧→個人情報の審査終了後に閲覧の可否を連絡します。館内の閲覧室でご覧いただきます。館外への貸出しは行いません。



※審査に時間を要する場合があります。また、個人情報が含まれる資料は閲覧できない場合があります。目録検索システムのご利用、閲覧申込書のダウンロードは、上田市ホームページ内の公文書館ページからどうぞ。